

堺フェニックスロータリークラブ活動報告

NPO法人観濠クルーズ Sakai へ環濠観光船二隻寄贈する



堺フェニックスRC創立10周年を迎え、記念事業として、地域への社会奉仕事業として、フェニックスI・IIの二隻を寄贈した。堺市は本年4月より政令都市として新たなスタートを切った。

黄金の都市として歴史を誇った“自由都市・堺”の象徴である「環濠」に船を浮かべて、船上から、街並みを見てもらいたい。このことを通して、観光都市「堺」の顔づくりに寄与したいとの一念で寄贈したのである。

管理運営にあたる「NPO法人観濠クルーズ Sakai」により、10月1日より就航した。

歴史を学び未来を創造する青少年の健全育成等に広く活用されることを期待している。

進水式・寄贈のニュース

(堺ジャーナル・2006.9.1)



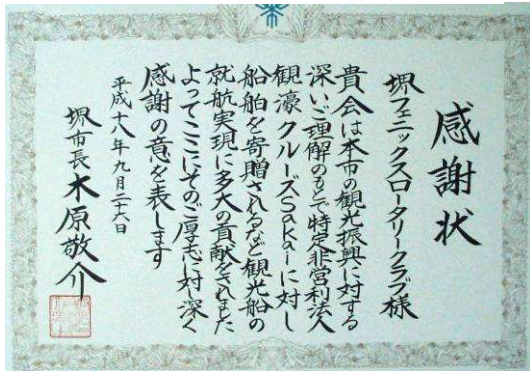
内川・土居川まつりに参加

堺フェニックスロータリークラブ(米田眞理子会長・会員32名)の創立10周年記念事業として、内川・土居川を周遊するための観光船が堺市へ寄贈された。

堺フェニックスロータリークラブ 内川・土居川 観光船を寄贈

8月31日(木)、堺港で進水式、リーガロイヤルホテル堺で贈呈式がそれぞれ行われた。
同クラブは、東洋のベニス・堺の象徴である内川・土居川の有効活用、及び環境に関する社会活動に船を寄贈することが、国際ロータリーの提唱する「水保全」と「地域社会への貢献」に合致すると考え、今回の寄贈につながった。
寄贈されたのは「観光船PHOENIX I・PHOENIX II」(共に10人乗り・定員12人)の2隻。

同船を使って川を周遊し、水上ウォッチングで、多くの歴史的遺産や、観光名所めぐりに使用される。
船を運営するのは、10年以上、内川・土居川の清掃活動などを行ってきたボランティアのメンバーが中心となって設立された特定非営利活動法人・観濠クルーズSakai(高杉普理事長)。同メンバーは府からの正式認可を受け、PRの内容やコースの選定などに日々取り組んでいる。
10月1日(日)に開催される「第8回内川・土居川まつり」がPHOENIXの初就航になる予定。
同船を使って川を周遊し、水上ウォッチングで、多くの歴史的遺産や、観光名所めぐりに使用される。
船を運営するのは、10年以上、内川・土居川の清掃活動などを行ってきたボランティアのメンバーが中心となって設立された特定非営利活動法人・観濠クルーズSakai(高杉普理事長)。同メンバーは府からの正式認可を受け、PRの内容やコースの選定などに日々取り組んでいる。
10月1日(日)に開催される「第8回内川・土居川まつり」がPHOENIXの初就航になる予定。



堺市長より感謝状拝受平成 18年 9月 26日



10月1日『第8回内川・土居川まつり』初就航



環濠船旅堺の風情を

中世・堺のシンボルともいえる環濠（かんがう）の名残をとどめる内川で、10月1日から、小型船で環濠を定期運航する「堺のくんだりクルーズ」が始まる。NPO法人「観濠クルーズSakai」（高杉晋理理事長、120人）が堺観光のシンボルの一つにと計画。1日に地元である「内川・土居川まつり」でデビューし、今年は11月末までの土・日曜に1日5回運航する。

（東裕二）

かつて、どぶ川となっていた内川・土居川は、下水道整備などで水質が改善し、環濠巡りはここ数年、まつりのイベントとして定着。評判だったことから、定期的に運航しようという声が高まり、今

「クルーズ」内川で来月1日から

年3月にNPO法人が発足した。使用されるのは、グラスファイバー製の小型船（全長5・6メートル）写真、同NPO提供。堺フェニックスロータリークラブ（米田真理子会長）から2隻寄贈された。定員は各12人だが、操縦者とガイドが付くため、お客さんは10人までだ。南海堺駅の東口南側の船着き場から乗船し、いったん堺泉北港に出て遊覧した後、内川を巡る。総延長は4・5キロで所要時間は約1時間。

運航は午前10時から1時間半おきで、料金は大人千円、小学生以下500円。1日と、14、15の両日の「堺まつり」の日は、短縮コースとなり料金は300円。問い合わせは同NPO事務局（電話072・2229・8851）へ。